

会 議 議 事 録

1 会議名	第13次第3回長岡市廃棄物減量等推進審議会
2 開催日時	令和5年7月27日（木曜日） 午前10時から午前11時30分まで
3 開催場所	寿クリーンセンター2階会議室
4 出席者名	<p>（委員） 中村会長、林副会長、松井委員、高橋委員、小方委員、畔上委員、三鍋委員、寺本委員、阿部委員、星野委員、佐野委員、皆川委員、嶋田委員、矢澤委員、平澤委員、酒井委員</p> <p>（事務局） 相田環境部長、里村環境政策課長、平澤環境施設課長、山口環境業務課長、安達環境業務課長補佐、竹畑環境施設課計画・整備担当係長、小林（芳）環境施設課主査、小林環境業務課減量推進担当係長、櫻井環境業務課主査、徳永中之島支所地域振興・市民生活課主査、柳橋越路支所地域振興・市民生活課係長、殖栗三島支所地域振興・市民生活課係長、倉地山古志支所地域振興・市民生活課係長、山吉小国支所地域振興・市民生活課係長、安立和島支所地域振興・市民生活課主任、納谷寺泊支所地域振興・市民生活課係長、土田栃尾支所市民生活課係長、吉澤与板支所地域振興・市民生活課係長、鈴木川口支所地域振興・市民生活課総括主査</p>
5 欠席者名	（委員） 田中委員、白井委員、松永委員、諸橋委員、石原委員
6 議題	<p>1 報告事項 令和4年度長岡市一般廃棄物処理実施計画と実績</p> <p>2 議題 長岡市廃棄物処理基本計画の中間見直しについて</p> <p>（1）長岡市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて</p> <p>（2）長岡市食品ロス削減推進計画について</p>

7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度長岡市一般廃棄物処理実施計画と実施について報告した。 ・長岡市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて意見等を伺った。
8 審議の内容	
環境部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境部長あいさつ
環境業務課補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料確認
環境業務課長	(資料1「令和4年度 長岡市一般廃棄物処理実施計画と実績」により説明)
委員	令和3年度と4年度の減少があるが大きい要因は何ですか。
環境業務課長	<p>ごみの総排出量が3年度の85,009 tから4年度の83,145 tへ減少していることについては、2年度3年度は、コロナの影響があり、家で過ごす時間が増え、その中で粗大ごみ、燃やさないごみが急激に増加したということがありますが、それ以上に燃やすごみが非常に減っています。燃やすごみも生ごみも中長期的には減少傾向にあります。そのような中で、燃やさないごみ・粗大ごみが増えたこと以上に燃やすごみが減ったことが減少要因だと思います。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用の生ごみ処理器の購入費補助は、どのくらいの実績がありますか。 ・長岡市の人口減少はあまり変わらないと思いますが、加味して減量化はどのくらい進んでいるのでしょうか。
環境業務課長	<p>生ごみ処理器購入補助は、令和4年度実績で107人、113台の申請がありました。比較として令和元年度は、98人、101台の申請があり、9人12台増えています。ほぼ横ばいか微増と考えています。生ごみ処理器の購入価格1/2、3,000円を上限に補助しております。毎年100人前後多いときは145人程度から申請があり、良い制度で継続していきたいと考えています。</p> <p>人口は横ばいか少しずつ減っており、ごみも総体的には減っていると思います。核家族化により家族が3～4人など、小さい世帯で排出量は少なく、昔のように沢山物を作って余ったら捨てるという時代ではなく、食べるものだけ買ってきているように感じます。人口は減少しているので、ごみの総排出量も減ってきているのかなと感じている。</p>
会長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次に「次第3 議題」に移ります。それでは、「長岡市一般廃棄物処理基本計画の中間見直し」について事務局から説明をお願いします。</p>
環境施設課長	(資料2-1「長岡市一般廃棄物処理実施計画の中間見直しについて」により説明)
委員	プラスチックの容量が一番多く大変です。プラスチック資源循環法とは具体的にどのような法律ですか。

環境業務課長	<p>長岡市は、現在、プラスチック容器包装については、透明な袋に入れて出してもらい、民間業者に委託して再商品化しています。また、プラスチック製品は、現在、燃やさないごみとして出してもらい、鳥越クリーンセンターで資源として使えるものは資源として、再生許可業者へ送っていますし、それ以外のものは埋め立てています。世界的にもプラスチックが海洋プラといわれたり、空中に漂うなど問題があり、令和4年4月にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律ができました。これに基づき、市町村は、家庭から排出されるプラスチック製品の分別や再商品化に努めることとなりました。今後は、バケツやお風呂の椅子等のプラスチック製品について、分別・再商品化について、検討していくこととなります。国からプラスチック製品の分別収集として157種類が例示されています。全部してしまうと、市民も収集業者も混乱します。再商品化するためには、処理施設の改装、雇用の問題等、非常に難しい課題が沢山あります。今後、寿クリーンセンターの建替えもあるので、プラスチック製品の処理も含め、総合的に今回の計画の中で検討していこうというのが趣旨です。</p>
委員	<p>ごみ処理は市民の協力・周知が一番大切だと思います。説明会、出前講座を様々な機会を使い、PRしていくとありますが、特にどんどこでどのようにPRしていくのですか。コロナ前はどれくらいの機会、反応があったのでしょうか。</p>
環境業務課長	<p>ごみの分別については、市民の方の意識が非常に大切だと思います。市政だよりや年2回発行の環境情報誌で周知しています。出前講座は、コロナで減少しましたが、回復傾向にあります。数字については、後で報告しますが、啓発は私どもの1丁目1番地だと思っております。いろんな形で啓発を強化していきたいと思います。携帯のSNSでもやっていますので、お使いいただけたらと思います。</p>
委員	<p>達成目標の数字があります。数字目標には根拠があると思いますが、減らされた目標の根拠を教えてください。</p> <p>前回の審議会で出前講座は増えてないという話でした。去年は増えたのでしょうか。</p> <p>書類の配布だけでなく、何か他にPR活動した方が良いと思います。他市の審議会で委員として参加した時は、市から様々なことを協力してほしいと依頼がありました。書類の配布がすべての啓発ではないと思います。</p>
環境業務課長	<p>出前講座ですが、平成28年度23回1,315人、令和元年度43回1,400人、令和2年度1回23人、令和3年度3回74人、令和4年度4回41人と令和2～4年度は減少しましたが、また回復傾向にあるのかなと思います。出前講座があるという周知もしていかなければならないと考えています。今後とも出前講座は、非常に大切なので、町内会や子供会にもできたらと思います。紙媒体だけでなく、アオーレの電光掲示板やSNSを使って周知していこうと思います。</p>
環境業務課補佐	<p>達成目標について、ごみ処理基本計画の33ページ以降の資料に根拠が出ています。リサイクル率などについても、国や県の目標値を参考にしながら、同じ方向を向いて進めています。</p>
環境業務課長	<p>ごみ処理基本計画の51ページに目標値設定の考え方として、施策内容と数</p>

<p>会長</p>	<p>値目標が記載されています。</p> <p>出前講座とか啓発のことに興味を持っています。今後、オンライン講座や食品ロス、プラスチックの問題に詳しい座談会、講座をやってみるなど、新しい形で発信していかないと若者には紙媒体だけでは受け入れてもらえないと思います。今の若い人は興味を持っています。マイクロプラスチックの話が大きいですが、10日間でカード1枚分のプラスチックを食べていると、ほぼほぼ排出されますが、もう水中にも相当のプラスチックが入っている世の中で、若い人達がどう考えていかなければいけないのかという授業を行っています。関心を持っている子は、問題解決として何を考えていくのか、どんな生活がいいのかなど一生懸命です。若者とのつながりがもっと強くなっていく出前講座や啓発を考えてもらえればと思います。</p> <p>次に長岡市食品ロス削減推進計画について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>環境業務課長</p>	<p>(資料2-2「長岡市食品ロス削減推進計画について」により説明)</p>
<p>委員</p>	<p>資料のデータがありますが、一般の方に情報を流してもいいですか。詳細に調べてあり感心しています。</p>
<p>環境業務課長</p>	<p>今年度中に市民の方に公表しようと思っっていますので、問題ありません。</p>
<p>委員</p>	<p>長岡市の食育推進会議の委員をしています。食育の中でもSDGzの取組を考えていくと話がありました。今、話を聞き、栄養や減塩も大切ですが、食品ロス問題についても食育の中で大切になると思います。この会議だけで食品ロス問題について進めるのではなく、食育担当課との連携も必要になると思います。次世代の子供にもわかるYouTube学習チャンネルを作成していただき、タブレット検索で見れ、小さい時から食品ロスに問題意識をもち食育していく取組ができればお願いします。</p>
<p>環境業務課長</p>	<p>食品ロスについては、小さい時から意識を持ってもらいたいと思っており、小中学校を対象に食品ロスの出前講座を実施しています。少しずつ増やしていけたらと思います。組成調査は、国の基準に基づいてやっています。この結果については、市民に周知していきたいと思っっています。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどお話しがあったプラスチック製品を体に取り入れている話に興味があり、海外の調査では、ほとんどのペットボトル飲料の中にはプラスチックが入っているという結果が出ています。そのようなことをもっと啓発していくと、結局、プラスチックを使うからプラスチックが自分の体に入ってくるという話に興味を持つと思っっています。ほぼ無害と言っっていました、実はファジーです。結論として、体に数パーセント残っているとのことで、もっと危機感をもっでごみに注意を向けるような切り口が大切だと思っっているので、ぜひお願っしたいと思っっています。出前講座という名前を変えるなど違うやり方、斬新なことが目をひくと思っっていますので飽きられないようにしてほっしいと思っっています。</p>
<p>会長</p>	<p>無害とは言っってません。10日間でキャッシュカードなどの大きさのプラスチックカード1枚の量を食品として食べている中に入ってきているという衝撃的な現状が一番効きますよね。大げさにはしたくないですが、実際にはそういう時代ですし、今後それが増えていくという危機感もあります。若い</p>

委員	<p>子の健康は私達より大切ですので、そういう意味では、若い世代にどう伝えるのか考えていく必要があると思います。</p> <p>ごみはCO2を発生させており体に有害で、ごみを減らすことはCO2削減につながるなどの観点も大切だと思いますので、若い人からごみについて注目してもらえるように一言付け加えます。</p>
委員	<p>中之島に施設ができ、中之島と寿と2つの施設でしばらく稼働となりますが、使い分けはどのようになりますか。また、寿が築26年で新たな施設を検討とのことですが、特に中之島の施設が今までと違う点をお聞かせください。</p>
環境施設課長	<p>現在、中之島に建設中ですが、ほぼ完成に近い状況です。年末には試運転として火入れをする準備を進めているところです。中之島の特徴は、蒸気でタービンを回し発電させ、焼却の熱エネルギーを17%の熱効率で発電に生かします。鳥越の代わりになる施設ですので、焼却とともに不燃・粗大の処理も行う施設として稼働します。今時なので当然、基本的に照明やタービン類も含め省エネルギータイプのものを採用していますので、鳥越よりはCO2を削減した形で稼働ができる施設です。寿は26年経過しているので、時代に合った施設を今後早めに検討していく段階にきていると思います。中之島に関しては、試運転等始まる頃には、見学も可能と思っています。地元の見学状況も勘案しますが、皆さんには一度見学いただければと考えておりますのでその時には相談させていただければと思います。</p>
会長	<p>プラスチックに関して新しい施設の中で何か対策はありますか。</p>
環境施設課長	<p>今の鳥越と同じ処理施設となりますので、プラスチックに特化して分別するという施設になっていません。新たな中間処理ルートを作っていかなければなりません。実際、破碎処理をして分別をする精度は今の施設より上がるので、金属類のリサイクルやプラスチック類の再処理の効率は、若干上がると考えておりますが、実際稼働しないとわからないところもあるので、工夫をしながら進めていきたいと思っています。特にプラスチックの再商品化に特化した施設にはなっていないのが現状です。</p>
会長	<p>再商品化という言葉が凄いい気になっていましたが、ペレット状のものにするのか、新しいプロダクトとして何かをするのか、そういう計画はあるのですか。</p>
環境施設課長	<p>国もまだ明確に出ていないのが現状です。プラスチックも多種あり、きちんとわかることで再商品化、バケツでバケツを作るなどができれば、一番良いですが、なかなかそれを作っても売れないという状況や量が集まらなとペイできないという状況がある中で、市としてもどこに処理をお願いすればいいのかまだ見えてこない状況です。その部分を国は、補助金を出しながら実験的にさせて3年になりますが、そういったことにより、処理ルートが構築されていくと思うのでそこに乗れば良いと考えています。</p>
会長	<p>全国的に問題になっていることですし、そこに何かしら長岡らしさが付いてくると良いと個人的に思います。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p>食品ロスに関しては、課長から組成調査に苦労したと聞いています。しっ</p>

<p>環境業務課課長補佐</p>	<p>かり分別しながらこれを割合で表していくのは大変なことだと思います。長岡市は食品ロスが少なく、食に関して考え方も素晴らしいものがあると思いますので、この数字を大切に、丁寧に見ながら前向きに進めていけたらと思います。</p> <p>それでは、「長岡市一般廃棄物処理基本計画の中間見直し」については、本日皆様から頂きましたご意見を計画に反映し、次回の審議会で説明をお願いします。</p> <p>以上で本日本日予定していた議事は終了となります。本日は貴重なご意見、活発なご審議ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p> <p>会長ありがとうございました。</p> <p>最後に「次第4 その他」に移ります。次回の審議会の日程についてお知らせします。今年度の2回目については、10月下旬から11月上旬に開催させていただきます。日程は、後日改めて連絡させていただきます。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p>以上をもちまして第13次第3回長岡市廃棄物減量等推進審議会を閉会させていただきます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>